

「美とふれあい、美と対話する」岐阜県美術館

広報・教育普及担当 岸 正法

岐阜県美術館について



美術館外観

岐阜県美術館は「美とふれあい、美と対話する」をテーマに昭和57年11月3日開館し、本年度で開館30年目を迎えました。

開館以来、国内外のすぐれた美術品を幅広く収集・展示し、県民の審美の眼をはぐくみ、豊かな美術活動を推進することを目的としています。県民に親しまれ、かつ県民の様々な学習の要求に応える生涯学習の場であることを目指しており、教育普及活動など多様なニーズに応えようとする美術館活動は、全国的にも高い評価を受けています。

岐阜県庁に程近い住宅地にありながら、広々とした敷地に植えられた約2万本を超越する木々に囲まれていることから「森の中の美術館」と呼ばれており、豊かな緑と立体造形作品との調和が、訪れる人へ憩いの空間を提供しています。館内は全館バリアフリーとなっており、車椅子やベビーカー付でもすべての施設を利用することができます。

新しくなった岐阜県美術館

開館30年を経た岐阜県美術館では、平成21年より再整備工事を行い、県民ギャラリーの改修や展示室の増築、収蔵機能の充実を図りました。422㎡におよぶ展示室の新設により、これまでに比べて1.5倍の所蔵作品を展示できるようになりました。

新しい展示室は、光幕天井による柔らかな照明と、4m50cmの天井高、横に長い30mの壁面が特徴です。また、床下に設置された空調設備により、人にも作品にも優しい環境を実現しています。新展示室は、県内外から要望の多いルドンの作品はもとより、スケールの大きい現代美術や、個々の作家の特集展示など、従来と異なる切り口による様々な作品の展示の可能性を秘めています。

岐阜県美術館の所蔵品

岐阜県は、川合玉堂、前田青邨、山本芳翠、熊谷守一など近代日本美術史上に重要な足跡を残した多くの作家を輩出しています。当館では、そうした郷土にゆかりのある作家の作品を収集、展示してきました。

それ以外にも、日本美術の流れを展望するにふさわしい作家の作品、世界の美術動向の中で特に創造性にすぐれた作品



ビエール＝オーギュスト・ルノアール《泉》
1910年頃

も積極的に収集し、展示しています。開館当初600点ほどであった所蔵品も、県内及び県ゆかりの方々からの寄贈もあり、現在では4,000点を数える作品を収蔵するまでになりました。

なかでもフランス象徴主義の画家ルドンについては油彩画をはじめ、石版画、パステル画、デッサンなど253点を収蔵し、世界的に注目される「ルドン・コレクション」を形成しています。こうした収蔵作品は年4回の展示替えを通して、幅広く観覧いただけます。



山本芳翠《浦島図》
1893-95年頃

ルドン・コレクションについて



オディロン・ルドン《眼をとじて》
1900年以降

当館のルドン・コレクションは日本国内ではもちろん最大であり、国際的にも主要なコレクションのひとつとなっています。岐阜県は美術館開館の数か月前に155点のルドン作品を一括購入しました。これがコレクションの始まりとなりました。そのうち約130点が旧安宅コレクションからのものです。

安宅コレクションとは、かつて我が国の主要な総合商社として知られ、昭和50年代初頭に倒産した安宅産業株式会社が収集していた美術品です。安宅のルドン・コレクションの内容は、主にルドンの「黒」、石版画や木炭画が中心でした

展覧会について

企画展では、世界に眼を広げる国際的な展覧会、日本画や工芸品など伝統的な日本美術の展覧会、21世紀の美術を志向

する新しい試みの作品を紹介する展覧会、郷土に根付いて活動する作家を取り上げた展覧会など多角的でユニークな企画を続けていきます。今年度は「象徴派―夢幻美の使徒たち」、マルク・シャガール―愛をめぐる追想」、岐阜県美術館の歴史30年の歩み展」の3つの展覧会を30周年記念展として位置づけて紹介するほか、教育普及活動を前面に押し出した「体感アート@県美.com（ケンビドットコム）」展を準備しています。

教育普及活動とは

専門的な美術の知識を培うための「美術講演会」や「美術講座」の他、「ワークショップ」や「作品鑑賞会」など企画展と連動した活動を展開しています。また、創造意欲を喚起するために美術の各ジャンルを対象にした「実技講座」や、子どもたちを対象にした「幼児と子ども造形教室」、「キッズ・エンジョイ・アクト」、親子での楽しい鑑賞体験を提供する「親と子の鑑賞教室」、さらに、鑑賞のためのガイドダンス、美術相談



教育普及事業・親と子の鑑賞教室より

などを実施し、新しい美術館教育のあり方を探りながら、美術活動を推進するセンターとしての活動を続けていきます。

美術館コンサート

美術館では、教育普及活動の一環としてコンサートを開催しています。作品展示に併せた企画展コンサートの他、パイプオルガン定期演奏会を実施し、好評を得ています。パイプオルガンの演奏会は、昭和59年4月から開催されており、現在では、6月を除く毎月第2日曜日の午後2時からホールに響く美しいパイプオルガンの音色をお楽しみいただいております。



美術館内観・多目的ホール

《美術館の基本情報》

住所：〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22
TEL：058-271-1313 FAX：058-271-1315
E-mail：c27213@pref.gifu.lg.jp